

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和07年01月20日

計画の名称	山田千里丘地区整備計画													
計画の期間	令和 0 7 年度 ~ 令和 1 1 年度 (5年間)												重点配分対象の該当	○
交付対象	吹田市													
計画の目標	本地区において、都市公園等の再整備等により健康増進、良好なまちなみの形成、地域コミュニティの強化、都市環境・景観を改善し、豊かな生活空間を形成する。													
全体事業費（百万円） 合計（ A + B + C + D ） 361 A 361 B 0 C 0 D 0 効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ） 0 %														

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R 7		R 1 1
1	市民等によるボランティア活動が行われている公園数を6箇所（ R 6 ）から8箇所（ R 1 1 ）に増加			
	市民等による清掃などのボランティア活動が行われている公園箇所数	6箇所	箇所	8箇所
2	まち歩きによる医療費抑制効果を0千円 / 年（ R 7 ）から100,000千円 / 年（ R 1 1 ）とする			
	まち歩きによる医療費抑制効果	0千円 / 年	千円 / 年	100000千円 / 年
3	健康維持・増進のために身近な公園を利用する住民の割合を29%（ R 7 ）から33%（ R 1 1 ）に増加			
	「健康維持・増進のために身近な公園を利用する」と回答する住民の割合	29%	%	33%
4	公園の夏場利用率を39%（ R 7 ）から47%（ R 1 1 ）に増加			
	「夏季において公園を利用する」と回答する住民の割合	39%	%	47%
5	公園の滞在時間を36分 / 週（ R 7 ）から39分 / 週（ R 1 1 ）に増加			
	アンケート調査により算出した1週間当たりの公園の滞在時間	36分 / 週	分 / 週	39分 / 週
	公園の利用時間（分）×公園の利用頻度（回/週）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	吹田市	直接	吹田市	-	-	グリーンインフラ活用型 都市構築支援事業	グリーンインフラに関する調 査・設計・工事	吹田市	■	■	■	■	■	361		-	
												小計						361		
												合計						361		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R07				
配分額 (a)	18				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	18				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	18				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 山田千里丘地区整備計画

事前評価		チェック欄
Ⅰ．目標の妥当性 基本方針・上位計画との適合等 1) 基本方針と適合している。		○
Ⅰ．目標の妥当性 基本方針・上位計画との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている		○
Ⅱ．計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 基幹事業との一体性が確保されている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) ハードとソフトの連帯等を図る計画である。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。		○
Ⅲ．計画の実現可能性 計画の具体性 1) 調査に基づき計画を立てている。		○
Ⅲ．計画の実現可能性 計画の具体性 2) 計画に記載された事業に関する地方公共団体等の理解が得られている。		○
Ⅲ．計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画について住民等との間で合意が形成されている。		○
Ⅲ．計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のために環境整備が図られている。		○

■グリーンインフラに関する調査・設計・工事

